

ふれあいネットワーク
ふくい社会福祉3
No.399

温故知新 ～一途に社協道～



写真左から 帰山康幸さん・幸子さん・安夫さん

結（ゆい）

ゆいファーム 帰山 安夫さん・幸子さん・康幸さん（大野市）

農村には「結（ゆい）」という言葉があります。

昔は、田植えや稲刈り、屋根葺きなど、村や集落の人たちが総出でお互いの労働力を提供し合ったという助け合いの制度のことです。

今でも自然に感謝し、助け合い、分かち合う精神をずっと大切にしたいという気持ちに変わりはありません。大野は清らかな水と空気、そして、緑豊かな自然に恵まれたとても住みよい地域ですが、現状は、少子高齢化が進んでいます。その要因は、地域に雇用の場が少ないということです。若者が仕事を求めて他の地域へ流出してしまい、地域に活気がなくなりつつあります。

しかし、私たちはこの地域に愛着を持ち、いつまでもここで暮らしたいと願い、魅力ある地域づくりを進めています。そのためには、まず自分自身のONLY ONEを磨き、輝くことが大切だと思っています。

そこで、輝く一歩として、全国的にもめずらしい自家栽培の青大豆を原料とした豆腐、油揚げ、豆乳などの青豆関連商品を開発しました。

使用する作物はできるだけ農薬を減らし、誰もが安心・安全に食べていただけるよう生産から加工、販売までの責任を自分たちで担っています。

商品開発までには様々な苦勞がありましたが、お客様に美味しいと言っていただけると、今までの苦勞が吹き飛びます。

大野の豊かな自然の中で愛情を込めて作られた農産物が、たくさんの家庭の食卓を結び、自然の恵みを分かち合っていると感じられることが私たちの喜びとなっています。

自分たちが輝くことで人と人がつながり、協力し合うことができ、楽しく豊かに暮らすことができます。

これからも、食を通して多くの人に幸せをお届けし続けたいと思っています。

表紙の企画について

様々な人たちの目線から「地域のつながり、人とのつながり」に関するメッセージをいただいています。



この広報紙は共同募金の配分金を受けています。

平成25年度市町社協トップセミナー・会長会研修 社協経営の視点と理事会の役割

去る1月21日（火）～22日（水）、平成25年度の「市町社協トップセミナー・会長会研修」があらわら市において開催されました。

県内社会福祉協議会の正副会長をはじめ役員約50名が参加し、社会構造や社会福祉を取り巻く状況が目まぐるしく変化する中で、社会福祉協議会の置かれている現状や社会的責任を果たす組織としての経営のあり方と理事会の役割について認識を共にしました。



開会の様子

基調講義では、元兵庫県社協福祉部長で流通科学大学サービス産業学部教授の松澤賢治先生に「社協経営の視点と理事会の役割」と題してご



ご講義いただいた松澤賢治先生

講義いただきました。

松澤先生は、「社会福祉基礎構造改革を契機に社協は新たな事業展開期に入り、『採算性』、『効率性』そして『経営』が組織としての大きな関心事になっていく」と指摘しました。一方で、「非営利組織としての社協の自立とは、『社協ならではの』という独自性によって社会における存在意義を獲得することであり、『先駆性』『開拓性』にこそ『社協らしさ』がある」と語られました。

続く事務局説明・グループ協議では、県社協の永松真事務局長から、県内社協の現状と社会福祉法人組織として求められる体制についてポイ

ントを示した後、グループごとに「理事会の役割」や「組織を担う人材（材育成）」、「地域のニーズに柔軟に対応するための組織づくり」等のテーマで協議を行いました。

2日目は、情勢報告として、全社協常務理事の山田秀昭氏から「社協を取り巻く外部環境の変化とその対応」と題して、現在の社会福祉の動向を踏まえた社協としての当面の取り組み方針についてお話いただきました。

山田常務からは、特に第2のセーフティネット強化策としての新たな生活困窮者支援制度の概要について解説をいただくとともに、全社協が平成24年に策定した「社協・生活支援活動強化方針」のポイントをお話いただきました。



全社協山田常務理事による情勢報告



グループごとの協議の様子

最後の「振り返り」では、セミナーを通じての学びを、参加者が「今年の抱負」として、台紙にしたため、グループ内で共有した後、17市町社協の各代表者と県社協清川忠会長が全体に発表し、社協の組織経営を担う責任ある立場としての決意を新たに、熱気にあふれる二日間のセミナーの幕を閉じました。



速報

『支援から見えてきたもの』

福井県自立促進支援センター

昨年の11月26日に開所した福井県自立促進支援センターでは、ほぼ毎日相談が持ち込まれ、支援員が「丁寧」を基本にその対応を行っています。

ここでは、開所日から今年1月20日までの期間に寄せられた相談のうち、本部センターの利用実績をもとに見えてきたものをいくつか紹介します。



相談者の傾向

相談受付件数38件のうち、相談者は男性が30人(78・9%)と圧倒的に多く、年齢は30歳代7人・40歳代9人・50歳代8人(合計63・2%)と、いわゆる「稼働年齢層」の割合が高くなっています。

また、相談経路としては、関係機関・関係者が19件(50・0%)と最も多く、中でも、市の福祉事務所や町の福祉関係所管課からのつながりそのほとんどとなっています。

相談者が抱える課題

相談者が抱えている悩みや課題としては、次のようなものが挙げられます。

- ① 就職の準備ができていない人
 - ・ 低学歴、無資格、無免許、基礎的スキル不足、対人関係スキル不足、市場への無関心等
- ② 心の問題や精神的問題を抱える人、専門的診療が必要な人

- ・ 発達障害、うつ病、ひきこもり、統合失調症等
- ③ 住居確保の問題を抱える人
 - ・ 家賃滞納者、路上生活者、県外から様々な課題を抱えてくる人

- ④ 刑余者
- ⑤ 多重債務等の金銭に課題を抱える人

- ⑥ 緊急的に食料支援を必要とする人
- ⑦ DV被害や家族関係が壊れている人

課題解決のためには

相談者の多くは、こうした課題を複合的に抱えています。また、これまでもたくさんさんの専門窓口を訪れたものの、窓口のたらい回しにあつたり、制度の谷間にさえひっかからなかつたなど、「最後に行き着いたのがこのセンターです」という人も少なくありません。

また、たとえ制度に結びついたとしても画一的な支援ではドロップアウトしてしまうことも予想されます。だからこそ、このセンターには「寄り添い型の支援」が求められています。

自立のための3要素

センターの利用者の特徴から、セーフティネットを活用して生活面や経済面において一時的に自立したとしても、再び生活困窮に陥ってしまう人が多いことも推察されます。自立の中で最も大切な要素は「社会面での自立」(人や社会とのつながりを取り戻すこと)、即ち、「人間力の回復」であり、ここへの支援こそがセンターとして一番重要な支援になってくると考えられています。



自立のための3要素



セーフティネットを活用して生活面、経済面で一時的に自立しても、再び生活困窮に陥ってしまう人が多い。

人や社会にとのつながりを取り戻す「人間力の回復」が最も重要

沖繩パーソナル・サポートセンター南部事務所
山本 太一資料 抜粋・一部修正

キャリアアップのための他施設間 福祉実践研修

福井県社協では、福祉施設職員の資質向上と利用者へのより質の高い福祉サービスの確保を目的に「他施設間福祉実践研修」を実施しています。

本研修は、自らが所属する施設とは異なる施設で、その対象や業務等を見聞し、実際に関わりを持つことで自らの業務や取り組み姿勢等を振り返り、幅広いものの見方・考え方を深め、更なる成長を促す契機とすることを目指しています。

今年度は、保育士や障害福祉サービス事業所の生活支援員など 8 名が本研修に参加し、自身のスキルアップに向けた目標を設定し、熱心に研修に取り組みました。

一方で、研修者受入施設からも、「他の施設職員を受け入れることで、改めて違った視点から自施設を見ることができ、よい機会となった。」などの感想も寄せられ、本研修を通して研修者、受入施設の双方にメリットが生まれています。

平成 26 年度も同研修を実施する予定です。4 月に研修者および受入施設の募集を行いますので、ぜひお申込みください。



社会福祉法人至誠福祉会
まごころ保育園保育士
奥平美由記さん

<特別養護老人ホーム愛全園にて研修>

私の職業は保育士ですが、この研修を受けて、初めて介護の仕事を知ることが出来ました。今回の研修の目的は、福祉についての視野を広めるとともに、自らの業務や取り組みを振り返り、福祉サービスの見方や考え方を見直すことでした。

愛全園では、食事・入浴・排泄の介助を、見学・体験させて頂きました。そこでは、人として、それぞれの生き方を尊敬し、その人に合ったプランを立て、実践されていました。またプランは、各専門職がその職域で考えられていました。保育とは支援の方法は違いますが、チームで情報を共有し、プラン作成・実践・評価することは変わりません。関わる方の視点に立ち、向き合いながら、取り巻く背景を考えて支援することの大切を改めて感じました。

保育も介護も、人と関わる仕事は同じです。その人自身を尊重し、生きる楽しさ、喜びを感じられるように支援したいと思います。この経験を自分自身のスキルアップにつなげるとともに、園の職員に伝え、質の向上に努めたいと思います。



社会福祉法人陽光会
あいの里生活支援員
立野 明希さん

<障がい者支援施設大日園にて研修>

他施設での福祉実践研修があると知り、他での日中活動や個別支援等にとっても興味があり今回の研修に参加させて頂きました。

大日園は創立 30 年ほどであり高齢な利用者の方もいると伺いました。あいの里においても高齢化・重度化に伴ってのケアが課題であり、大日園での諸活動を修得したいと思いました。研修では日中活動、作業、リハビリ、身辺衛生など 5 日間業務に入らせていただきました。利用者の方の特性がわからず初めはどう接すれば良いか戸惑うこともありましたが、大日園の担当の職員の方がひとつひとつ親切にご指導くださり利用者の方と円滑にコミュニケーションをとることが出来ました。職員の配置がしっかり確立されており園内のウォーキングの時間には歩行が不安定な方に必ず職員が付き、個別支援の時間が設けられ利用者の方ひとりひとりの支援を行っていました。個別支援の内容はPTと担当の職員が作成した内容

内容になっており歩行やマッサージなど体力・筋力の維持、もしくは向上できるような内容が多かったです。個別支援チェックシートが作成してあり統一された支援がされていました。参考になる事が多く自分を見直す良いきっかけになりました。

今回の研修に参加して、大日園の職員の方と情報交換することができ、業務や支援の取り組みについて新たな考え方を見出すことが出来ました。学んだことをどんどん活かし、施設全体のレベルアップに繋げていきたいと思います。



社会福祉法人大日園
障がい者支援施設大日園支援課主任
山端 宏一さん

<児童発達支援・生活介護事業所「オアシス」にて研修>

私は障害者支援施設で生活支援員として知的障害者の方たちの支援を行っています。今回、キャリアアップのための他施設間福祉実践研修を通して他施設との情報交換、良いところを吸収したいと研修に臨みました。

研修先は、福井県子ども療育センター内の「オアシス」で、在宅の重症心身障害児、者の方の通所施設でした。研修では食事、入浴等の見学、実習をさせて頂きました。事業所によりそれぞれのやり方があり、無駄のない、利用者の方に負担が少ない方法で介助されていると感じました。一番すばらしく感じたのはスタッフの方が明るく、楽しい雰囲気を作り、利用者の方も大変楽しそうにしていた事です。

今回の研修で、情報交換、介助のやり方、雰囲気を体験し、私の支援のやり方、業務に対しての取り組み方等を見直す事ができました。自分自身のスキルアップ、施設全体のレベルアップに繋げていきたいと思います。



詳しくは、福祉サービス支援課(TEL 0776-24-2347)までお問合せください。

活用して
みませんか？

社会福祉関連民間助成事業の紹介

企業や団体の中には福祉団体やボランティアグループ等を対象に様々な助成事業を行っているところがあります。各団体より本会に周知依頼のあったものについてご紹介いたします。助成金を上手に活用して、活動のさらなる発展を目指してみませんか？

※以下の一覧表は、本会ホームページ [<http://www.f-shakyo.or.jp/>] からダウンロードできます。

[平成 25 年度実績]

名 称	助成対象	助成対象事業	助成額	申込締切	問合せ先 (TEL)
全労災 「地域貢献助成事業」	NPO 法人、任意団体等 (NGO、ボランティア団体等)	1. 環境分野 ・地域の自然環境を守る活動等。 2. 子ども分野 ・子どもたちの豊かな遊びの場をつくる活動等。	30 万円	4 月上旬	全労災 地域貢献助成事業事務局 03-3299-0161
福祉医療機構 「社会福祉振興助成事業」	民間の非営利活動団体・グループ (法人格の有無は不問)	福祉活動支援活動、社会参加促進活動支援事業、地域連携活動支援事業等。	各部門別に助成金限度額を設けている	4 月中旬	(独) 福祉医療機構 03-3438-9945
キリン福祉財団 「キリン・子ども「力」 応援事業公募助成」	18 歳以下のメンバーが中心となって活動する 4 名以上のグループ	子どもの発想から生まれ、子どもが主体となって実施する活動。	15 万円	4 月末日	(財) キリン福祉財団 03-5540-3522
キリン福祉財団 「キリン・シルバー「力」 応援事業公募助成」	65 歳以上のメンバーが中心となって活動する 4 名以上のグループ	高齢者が持つ力(知識、技術、経験など)を地域社会で活かすボランティア活動。	30 万円	4 月末日	(財) キリン福祉財団 03-5540-3522
福井県しあわせ福祉資金助成事業	NPO 法人、ボランティア団体等	心身障がい者、高齢者、児童等の社会参加または自立更生の機会と便宜を提供する等の、直接的な援助活動。	20 万円	4 月末日 10 月末日	福井県地域福祉課 地域健康福祉グループ 0776-20-0326
生命保険協会 「子育て家庭支援団体に対する助成活動」	非営利の民間団体・グループ (NPO 法人含む)	就学前の子どもの保護者等(妊婦等を含む)に対する支援活動等。	25 万円	4 月末日	(社) 生命保険協会 福井県事務室 0776-25-0107
ドナルド・マクドナルド・ハウス財団 「助成事業」	ボランティア団体等	0～21 歳までの子どもの健康や福祉を直接改善するプログラム等。	総額 200 万円	5 月上旬	(財) ドナルド・マクドナルド・ハウス財団 03-6911-6068
トヨタ財団 「国内助成プログラム」	制限はとくになし。活動地域は国内限定	「継ぐ、つくる、つなげる」というプロセス(またはその一部)により、地域の課題の解決に結び付くプロジェクト。	各部門別に助成金限度額を設けている	5 月上旬 11 月上旬	(財) トヨタ財団 国内助成プログラム係 03-3344-1701
NHK 厚生文化事業団 「地域福祉を支援するわかば基金」	地域で活発な福祉活動を進めるグループ(NPO 法人可)	高齢者、障がい者の日常生活支援活動等。地域の高齢者や障がい者へのパソコン指導等。	第 1 部門・100 万円 第 2 部門・リサイクルパソコン	5 月末日	(福) NHK 厚生文化事業団 03-3476-5955
みずほ教育福祉財団 「老後を豊かにするボランティア活動資金」	社会福祉法人、社団法人、NPO 法人等	高齢者の日常生活援助、生活環境の向上、レクリエーション、他世代との交流を図る等のボランティア活動。	10 万円	5 月末日	(財) みずほ教育福祉財団 03-3596-4532
大同生命厚生事業団 「地域保健福祉研究助成」	保健・医療・福祉の実務従事者等	地域保健及び福祉に関する研究等。	30 万円	5 月末日	(財) 大同生命厚生事業団 06-6447-7101
大同生命厚生事業団 「サラリーマン(ウーマン)ボランティア活動助成」	社会福祉分野のボランティア個人・グループ	高齢者・障がい者福祉に関するボランティア活動。子どもの健全な心を養うための交流ボランティア活動。	10 万円	5 月末日	(財) 大同生命厚生事業団 06-6447-7101
大同生命厚生事業団 「シニア・ボランティア活動助成」	社会福祉分野のボランティア個人(年齢 60 歳以上)・グループ	高齢者・障がい者福祉に関するボランティア活動。子どもの健全な心を養うための交流ボランティア活動。	10 万円	5 月末日	(財) 大同生命厚生事業団 06-6447-7101
日本生命財団 「高齢社会助成」	先駆的・開発的活動研究に従事する研究者、団体等	①先駆的助成…高齢社会における地域福祉、まちづくりを目指す地域を基盤とした先駆的助成等。 ②実践的研究助成…高齢社会における地域福祉まちづくりを探索する実践的研究等。	各部門別に助成金限度額を設けている	① 5 月下旬 ② 6 月中旬	(財) 日本生命財団 06-6204-4013
福井県社会福祉協議会 「まごころ基金助成」	民間の非営利活動団体・グループ (法人格の有無は不問)	高齢者・障がい者、児童の福祉の充実を図ることを目的とする事業	20 万円	5 月末日	(福) 福井県社会福祉協議会 0776-24-2339
丸紅基金 「社会福祉助成金」	非営利法人	社会福祉事業(福祉施設の運営、福祉活動など)を行う民間の団体が企画する事業。	200 万円	5 月末日	(福) 丸紅基金 03-3282-7591
三谷市民文化振興財団 助成事業	非営利の団体	青少年、女性、その他のボランティア活動等。	20～30 万円	6 月中旬	三谷市民文化振興財団 0776-20-3188
みずほ教育福祉財団 「配食用小型電気自動車寄贈事業」	ボランティアグループ、NPO 法人等	高齢者向け配食サービス	1 台総額 100 万円	6 月中旬	(財) みずほ教育福祉財団 03-3596-4532
読売新聞社 「よみうり子育て応援団大賞」	子どもや親を対象にした支援活動を行う民間のグループ、団体	子育てサークル、男性の育児参加などの活動。	大賞…賞金 200 万円 奨励賞…賞金 100 万円	6 月上旬	読売新聞大阪本社「よみうり子育て応援団大賞」事務局 06-6881-7228
ファイザー 「心とからだのヘルスケアに関する市民活動・市民研究支援」	民間の非営利活動団体(法人格の有無は不問)	中堅世代の人々の心身のケアに関する課題等の課題解決のために、市民団体が行う市民活動および市民研究。	300 万円	6 月下旬	ファイザー株式会社 ファイザープログラム事務局 03-5623-5055
太陽生命厚生財団 「社会福祉助成事業」	ボランティアグループ、NPO 法人等(法人格の有無は不問)	①在宅高齢者、在宅障がい者の自助・自立を支援する事業等。 ②老人保健、高齢者福祉に関する研究・調査。	各部門別に助成金限度額を設けている	6 月末日	(財) 太陽生命厚生財団 03-3272-6268
日本おもちゃ図書館財団 「助成金」	おもちゃ図書館を運営する団体	おもちゃの購入、手作りおもちゃのための材料、おもちゃ図書館整備のためのジュウタン、おもちゃ格納戸棚、おもちゃ陳列棚の購入に要する費用。	A 申請…30 万円 B 申請…一律 5 万円	7 月下旬	(財) 日本おもちゃ図書館財団 03-5299-9010
損保ジャパン記念財団 「自動車購入費助成」	社会福祉法人、NPO 法人等	障がい者の在宅福祉活動を行う団体等。	自動車購入費 100 万円	7 月末日	(財) 損保ジャパン記念財団 03-3349-9570
伊藤忠記念財団 「子ども文庫助成」	ボランティア団体、個人	子ども達の読書啓発活動、指導等。	各部門別に助成金限度額を設けている	7 月末日	(社) 読書推進運動協議会 03-3260-3071

名 称	助成対象	助成対象事業	助成額	申込締切	問合せ先 (TEL)
みずほ福祉助成財団 「社会福祉助成金」	法人施設、団体、共同作業所等または研究グループ (個人を除く)	障がい者 (児) に関する民間の事業や研究。	各部門別に助成金限度額を設けている	7 月末日	(財) みずほ福祉助成財団 03-3201-2442
清水基金 「一般助成事業」	障がい児・者の各関係施設を経営する民間社会福祉法人	施設福祉及び地域福祉に必要な建物 (新築、改修、増改築)・車両・機器等。	50~700万円	7 月末日	(福) 清水基金 03-3273-3503
松翁会 「社会福祉助成金」	法人施設、団体 (個人は不可)	社会福祉に関する民間の事業、研究等。	60 万円	7 月末日	(財) 松翁会 03-3201-3225
モバイル・コミュニケーション・ファンド 「ドコモ市民活動団体への助成 (環境分野)」	非営利活動団体で NPO 法人等 (法人)	「環境を守る」をテーマにこれからの地球や地域の環境のためになるような活動など	50 万円	7 月末日	モバイル・コミュニケーション・ファンド 03-3509-7651
ヤマト福祉財団 「ジャンプアップ助成金」	障がい者施設・団体	障がい者の工賃向上や自立と社会参加への支援に直結する事業。	500 万円	8 月下旬	(財) ヤマト福祉財団 03-3248-0691
植山つる 「児童福祉研究奨励基金」	児童福祉施設に働く職員	研究 A … 児童福祉に関する自主研究 研究 B … 児童福祉に関する自主研究でさらに成果を発展させるための共同研究	各部門別に助成金限度額を設けている	9 月上旬	(福) 全国社会福祉協議会 児童部 03-3581-6503
ヤマト福祉財団 「小倉昌男賞」	障がい者福祉関係者 (個人)	働く障がい者の生活向上に大きく貢献している方。	副賞：賞金 100 万円	9 月中旬	(財) ヤマト福祉財団 03-3248-0691
大和証券福祉財団 「ボランティア活動助成」	ボランティア団体・グループ	在宅高齢者、障がい児・者、児童問題等に対するボランティア活動。	30 万円	9 月中旬	(財) 大和証券福祉財団 03-5555-4640
社会福祉事業研究開発基金 「助成事業」	社会的信用を有する社会福祉法人、NPO 法人、ボランティア団体等	社会的課題となっており対応が急務となっている民間の支援事業。(精神障がい者・児童虐待防止・更生保護の活動・認知症に関する支援事業等)。	100 万円	9 月末日	(福) 社会福祉事業研究開発基金 03-6256-3581
TOTO 株式会社 「TOTO 水環境基金」	営利を目的としない市民活動団体 (法人格の有無、種類は不問)	地域の水と暮らしの新しい文化の実現に向けた実践活動等。	活動内容を精査の上、助成金額決定	9 月末日	TOTO 株式会社 総務部 TOTO 水環境基金 093-951-2224
都市緑化機構 「花王・みんなの森づくり活動助成」	緑化活動団体等	市民による「森づくり活動」と「環境教育活動」。	各部門別に助成金限度額を設けている	10 月末日	(財) 都市緑化機構 03-5216-7191
北陸労働金庫 「NPO・ボランティア団体助成金」	NPO 法人、ボランティア団体等	環境、国際交流・国際協力、社会福祉、まちづくり、安心・安全活動など。	30 万円	10 月末日	北陸労働金庫 076-231-2165
日本たばこ産業 「NPO 助成事業」	1 年以上の活動実績をもつ非営利法人	地域と一体となって「地域コミュニティの再生と活性化」に取り組む事業等。	150 万円	11 月中旬	日本たばこ産業㈱ 03-5572-4290
損保ジャパン記念財団 「NPO 基盤強化資金助成」	社会福祉法人、NPO 法人等	障がい者の在宅福祉活動を行う団体等。	50 万円	11 月中旬	(財) 損保ジャパン記念財団 03-3349-9570
ソニーマーケティング学生ボランティアファンド事務局 「ソニーマーケティング学生ボランティアファンド」	大学生がリーダーシップをとって活動しているグループ	社会を良くしていこうというスピリッツとプランをもって、大学生がリーダーシップをとって進めるボランティア活動。	各部門別に助成金限度額を設けている	11 月中旬	ソニーマーケティング学生 ボランティアファンド事務局 03-5421-5131
郵便事業株式会社 「年賀寄附金配分金」	営利を目的としない公益の増進に寄与する法人格を持つ団体	社会福祉の増進を目的とする事業等。	対象事業別に助成金の限度額を設けている	11 月末日	郵便事業㈱ 年賀寄附金事務局 03-3504-4401
コーポレートガバナンス協会 「北川奨励賞」	難病や障がいをもつ子どもとその家族対象のボランティアグループ、個人。	難病や障がいをもつ子どもとその家族の支援に対する社会医学的な実践、セルフヘルプ活動、ボランティア活動等。	50 万円	1 月中旬	コーポレートガバナンス協会 事務局 045-263-6965
三菱財団 「社会福祉事業」 「研究助成」	社会福祉を目的とする民間の事業 (法人)、調査研究 (個人、法人)	開拓的ないし実験的な社会福祉を目的とする民間の事業、社会福祉に関する調査研究等。	総額 7,000 万円	1 月中旬	(財) 三菱財団 03-3214-5754
読売光と愛の事業団 「地域連携」助成事業	福祉作業所等	地域団体や企業と協力、連携して地域活性化につながる事業。	150 万円	1 月中旬	読売光と愛の事業団 03-6226-7633
環境再生保全機構 「地球環境基金助成金」	日本国内外の民間団体 (NGO、NPO)	開発途上地域又は日本国内で実施する環境保全活動等。	対象事業別に助成金の限度額を設けている	2 月中旬	(独) 環境再生保全機構 044-520-9505
全日本冠婚葬祭互助協会 「社会貢献基金助成」	社会福祉法人、NPO、一般財団法人等	高齢者福祉事業、障害者福祉事業、児童福祉事業等社会貢献に資するあらゆる事業。	200 万円	2 月末日	(社) 全日本冠婚葬祭互助会 03-3596-0061
さわやか福祉財団 「連合・愛のカンパ」	非営利の任意団体、NPO 法人、グループ、サークル	新たに始める高齢者、子ども、障がい者等の助け合い・支え合い活動。	15 万円	2 月末日	(財) さわやか福祉財団 03-5470-7751
げんでんふれあい福井財団 「助成事業」	ボランティア団体等	ボランティア団体等の活動に関する事業。	20 万円	(前年度) 3 月中旬 4 月中旬	(財) げんでんふれあい福井財団 0770-21-0291

福井県共同募金会が受け付けている助成事業

詳しくは、福井県共同募金会までお問合せください。〔TEL：0776-22-1657 ホームページアドレス：http://akaihane-fukui.jp/〕

名 称	助成対象	助成対象分野、条件等	助成額	申込締切	決定(内定)
一般共同募金助成金	自分のまちを良くしようとがんばっている団体 ただし、他の補助金との重複や公的補填のない福祉活動とする。	①地域福祉の推進となる事業 ②地域福祉の推進となる備品 車両 (リース契約含む)、建物整備	50 万円以内 施設整備は 200 万円以内	5 月下旬	8 月下旬
災害等準備金助成金		①大規模災害に備えた事業や研修会、又は、備品等 (社会福祉施設対象) ②先駆的発展的な事業			
NHK 歳末たすけあい助成金		①歳末ふれあい活動費 ②地域福祉活動事業 ③地域福祉活動備品	50 万円以内	9 月上旬 ~ 10 月中旬	3 月中旬
車両競技公益資金記念財団助成金	ボランティア活動団体	ボランティア活動に必要な備品	90 万円以内	7 月中旬	10 月
	保育所	補修・改修	300 万円以内	4 月	6 月
中央競馬馬主社会福祉財団助成金	社会福祉法人	備品の購入	100 万円以内	5 月下旬	7 月中旬

平成26年 4月から

研修の案内方法が変わります！

本会社会福祉研修所が実施している研修のご案内方法について、以下のように変更になります。
資源節約のためにも、ご理解賜りますようお願い申し上げます。

	これまで	平成26年4月～
ご案内	紙(印刷物)で、その都度「開催要領」等を郵送。	四半期ごとに、研修予定一覧を郵送でお知らせし、開催要領等については、 本会ホームページ をご覧ください。原則として、 開催要領等の印刷物の送付はしないこととします。
お申込み	ファックス、郵送、メール等で受付。	これまでと変わりません。



社会福祉研修所をクリック
各研修の開催要領、申込書をダウンロードしてご利用ください。

お問合せ 社会福祉研修所(福祉の人づくり支援課) TEL:0776-21-2294

平成26年度 全国および県内関連事業日程一覧

全国大会・会議等

開催日	名称	会場
6月12日～6月13日	社会福祉協議会活動全国会議	灘尾ホール
7月9日～7月11日	全国社会就労センター総合研究大会	新潟県新潟市
7月29日～7月30日	全国身体障害者施設協議会研究大会	神奈川県横浜市
9月27日～9月28日	第23回全国ボランティアフェスティバルぎふ	岐阜県岐阜市
9月29日～9月30日	社会福祉法人経営青年会全国大会	千葉県千葉市
10月1日～10月3日	第41回国際福祉機器展	東京ビックサイト
10月2日～10月3日	第58回全国母子生活支援施設研究大会	京都府京都市
10月4日～10月7日	第27回全国健康福祉祭(ねんりんびっく)	栃木県
10月9日～10月10日	第64回全国乳児院協議会	高知県高知市
10月16日～10月17日	第48回全国保育士会研究大会	香川県高松市
10月23日～10月24日	全国救護施設研究協議会	愛知県名古屋
10月23日～10月24日	第83回全国民生委員児童委員大会	和歌山県和歌山市
10月28日～10月30日	第68回全国児童養護施設長研究協議会	京都府京都市
10月28日～10月30日	全国老人福祉施設大会	宮城県仙台市
11月5日～11月6日	全国社会福祉法人経営者大会	福島県郡山市
11月12日～11月14日	第58回全国保育研究大会	秋田県秋田市
11月21日	全国社会福祉大会	日比谷公会堂
12月2日～12月3日	社会福祉トップセミナー	灘尾ホール
未定	全国地域包括・在宅介護支援センター研究大会	東京都

福井県内大会等

開催日	名称	会場
8月31日～9月1日	平成26年度中部地区母子寡婦福祉研修大会	福井市(フェニックス・プラザ)
9月20日	ふくい健康長寿祭2014	福井市
10月26日	平成26年度 福井県介護支援専門員実務研修受講試験	永平寺町(福井県立大学)
11月8日	第61回福井県社会福祉大会・ふくいつながりフォーラム2014	福井市(ユー・アイふくい)
11月20日～11月21日	東海北陸社会就労センター研究協議会福井大会	あわら市(芦原温泉「清風荘」)



福井県社会福祉センター耐震補強工事のお知らせ

福井県社会福祉センターは、県の「建築物耐震改修促進計画」に基づき、平成26年7月から翌年2月までを目途に、建物の耐震補強工事を実施します。

工事期間中は、一部の部屋が使用できなくなるほか、会議室等ご利用の際に、作業現場の機械音や振動などの影響が予想されます。

センターご利用のお客様には、ご迷惑をお掛けして誠に申し訳ございませんが、耐震補強工事期間中のご利用につきまして、ご理解とご協力をお願いいたします。

◆工事で使用できなくなる部屋は下記のとおりです。

- 1階 身障第一集会室、身障第二集会室
- 2階 体育館、調理訓練室、和洋裁訓練室、作法訓練室 ※体育館は6月から使用できません
- 3階 娯楽室

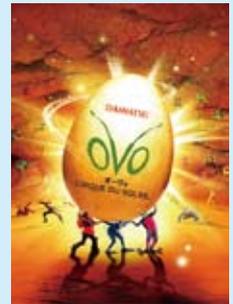
福井県社会福祉センター指定管理者（社会福祉法人福井県社会福祉協議会）



ソウェルクラブ 平成26年度 会員交流事業

シルク・ドゥ・ソレイユ「オーヴォ」観劇 名古屋日帰り旅行

ソウェルクラブでは会員の皆様楽しんでいただける企画を予定しております。26年度のおススメ企画は「記念すべき夢のスーパーサーカス第10弾！オーヴォ」。かつてないスケールと芸術性を融合させた圧巻のアクロバットの数々で、草木の下の生き物たちの世界を描いた初のファンタジー作品「オーヴォ」の観劇旅行です。皆様のご参加をお待ちしています☆



日時	場所	ソウェルクラブ特別金額（チケット代、旅行代金を含む）
平成26年12月21日	名古屋ビクトップ	通常25,000円▶ 10,000円 （予定）

ソウェルクラブに加入しませんか？

ソウェルクラブでは、社会福祉事業従事者の福利厚生の増進を図ることを目的とし、健康維持・増進、心身のリフレッシュに役立つさまざまな福利厚生サービスを行っています。

具体的には、健康管理、慶事のお祝いや万が一に際しての弔慰金・見舞金の支給等の基本的な福利厚生のサービスを提供するとともに、職員の資質向上のための講習会や各種研修を開催しており、会員の方は無料でご参加いただけます。また、会員の交流を図るため都道府県ごとに様々な会員交流事業を実施しています。

貴企業の福利厚生充実のため、ソウェルクラブの加入をぜひご検討下さい。

加入の対象

- 社会福祉法に基づく第1種・2種社会福祉事業を実施する事業所（社会福祉法人、株式会社、有限会社等）

サービス内容

- 健康生活用品給付（3千円相当）
- 生活習慣病予防健診助成（一般健診の場合4,120円）
- 結婚、出産、入学お祝い贈呈（5千円、1万円商品券）
- 資格、永年勤続記念品 贈呈（5千円～5万円相当）
- クラブサークル活動助成（1人1千円）
- 会員交流事業助成 など

加入費用

- 通常コース 1名につき年間1万円
- 非常勤職員コース 1名につき年間5千円

問合せ先

- ソウェルクラブ福井地方事務局
福井県社会福祉協議会 総務企画課
TEL: 0776-24-2339

寄贈・寄附

誠にありがとうございました。

2月5日(水)

贈呈者

福井県生命保険協会 様(福井市)
車いす 8台
助成金 10万円

贈呈先

(車いす)
ほっとプラザデイサービスセンター 様
海楽園デイサービスセンター 様
若狭ハイツデイサービスセンター 様
長寿園デイサービスセンター 様
(助成金)
がんばるはうす 様



福井県生命保険協会 様



社会福祉事業の発展のために活用させていただきます。

日本国内でのボランティア活動中のケガや賠償責任を補償!!

ボランティア活動保険

Aプランは、死亡1,200万円、入院6,500円、通院4,000円、賠償責任5億円(限度額)を補償

全国180万人
加入!!

<http://www.fukushihoken.co.jp>

ふくしの保険

検索



特徴は

- 活動場所と自宅との往復途上の事故も補償!
- 熱中症(日射病・熱射病)による障害も補償!
- ボランティア自身の食中毒や特定感染症も補償!
- 地震など天災によるケガも補償(天災タイプご加入の場合)

ボランティア行事用保険

地域福祉活動やボランティア活動の一環として行われる各種行事におけるケガや賠償責任を補償!

福祉サービス総合補償

ヘルパー・ケアマネジャーなどの活動中のケガや賠償責任を補償!

送迎サービス補償

送迎・移送サービス中の自動車事故などによるケガを補償!

年間	基本タイプ	Aプラン	…	300円	Bプラン	…	450円
保険料	天災タイプ	Aプラン	…	460円	Bプラン	…	690円

※各プランの補償金額、補償内容などの詳細は、専用のパンフレットをご用意しておりますので、最寄りの社協にお問い合わせください。

お申込み、お問合せは、あなたの地域の社会福祉協議会へ

団体契約者

社会福祉法人
全国社会福祉協議会

この保険は、全国社会福祉協議会が保険会社と一括して契約を行う団体契約です。

取扱代理店

株式会社 福祉保険サービス

〒100-0013 東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル17F
TEL:03(3581)4667 FAX:03(3581)4763
受付時間:平日の9:30~17:30(12/29~1/3を除きます。)

(引受幹事保険会社) 日本興亜損害保険株式会社

未来に笑顔



Profile

竹内 誠 さん (福井市)

(福) 竹伸会 杉の木台保育園
園長 4年

このコーナーでは、「笑顔 (スマイル)」をキーワードに福祉職の方々に登場いただき、福祉の現場で活躍しているからこそ『見える』『言える』、福祉の魅力について語っていただきます。

「子どもは親の背中を見て育つ」とはよく言ったものです。親の言葉からだけでなく、毎日の生活の中で、子どもは意識することなく、親からさまざまなことを吸収しています。私も両親が保育園で働く背中を幼い頃から見て育ちましたので、誰から強制されたわけでもなく自然に福祉の道に進むことを決め、福祉大学卒業後にこの仕事に就きました。



福祉職に就いたきっかけ

子どもの目線に立つ

子どもと同じ目線で付き合うことが大切だと思っています。しゃがんで子どもの目の高さに合わせることでお互いに親近感がわき、子どもの見えている世界が理解できます。そうすることで、子どもとの距離が近くなることを実感できます。

このような何気ない繰り返しを日々行うことで、子どもたちが何を考え、どのように過ごしているのかが伝わってきます。また、子どもの目線に立った考え方ができます。



縁の下の力持ち

親が安心して働き、子どもを信頼して預けられる保育園となるためには、様々な環境を整備することが求められます。

園長の仕事とは、保育園に関わる人たちから信頼され、相談しやすい存在になることや建物の管理、安全・衛生面の管理など、目には見えないけれど大切な仕事が多くあり、縁の下の力持ち的存在だと思います。

このことを円滑に進めることが、良い保育につながると確信しています。

笑顔の素

笑顔は人に元気や活力を与える特效薬ですが、特に子どもたちの笑顔は即効性があります。そして、なによりも力になります。

取材を終えて

「子どもの成長が手に取るようにわかり、やりがいのある良い仕事です」と笑顔で語る竹内園長。「笑顔」が人を元気にし、勇気を与えてくれる、まさに元気の素になっているのでしょう。